

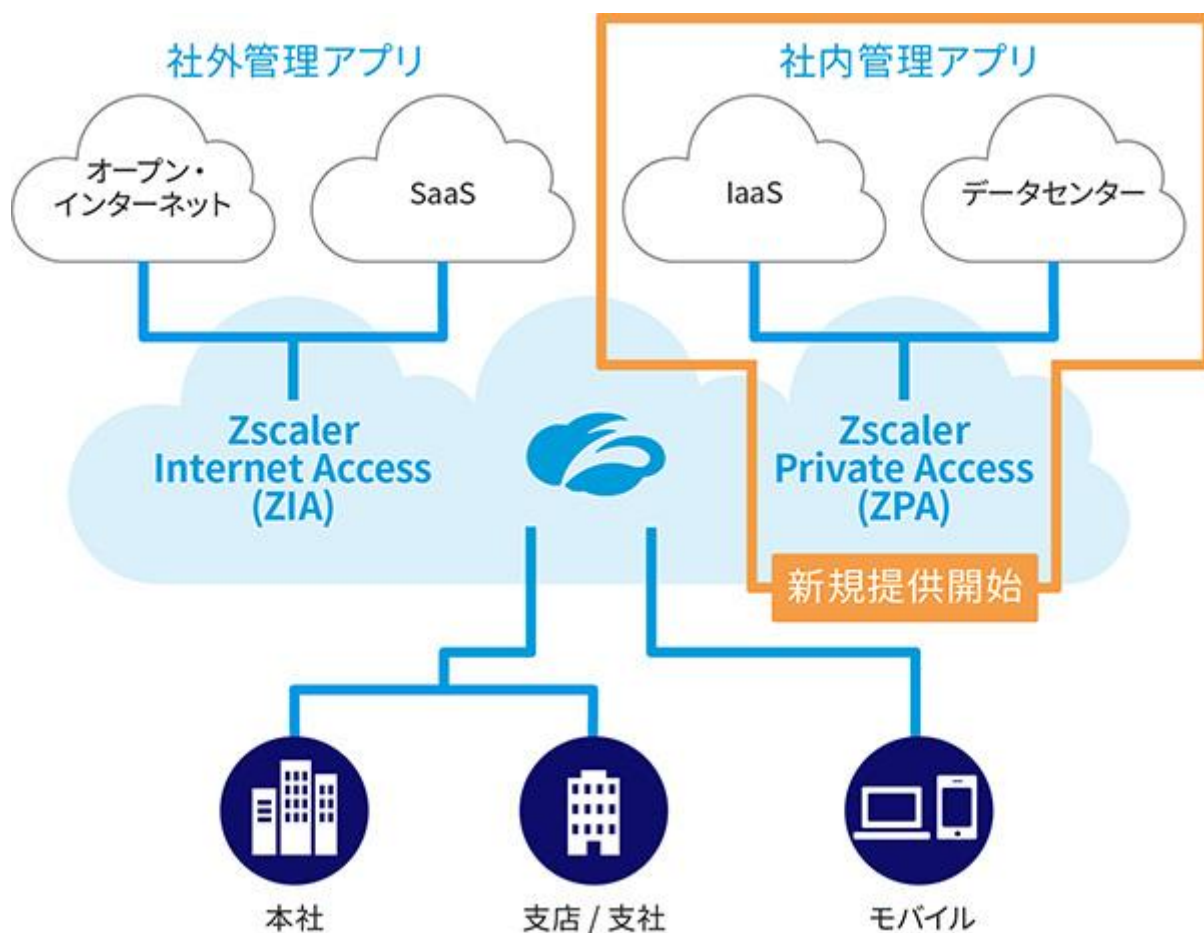
リモート環境から社内システムへ安全に接続するクラウド型セキュリティサービス「Zscaler Private Access」を提供開始 ～ゼロトラストを取り入れたネットワークで、働き方の DX をサポート～

2020 年 7 月 17 日

KDDI 株式会社

KDDI デジタルセキュリティ株式会社

KDDI と KDDI デジタルセキュリティ（以下 KDS）は、自宅や外出先などのリモート環境から社内ネットワーク上で管理するシステムへ安全に接続するクラウド型セキュリティサービス「Zscaler (TM) Private Access (TM)」(以下 ZPA (TM)) を 2020 年 7 月 17 日から提供開始します。



<「Zscaler」サービスイメージ>

■背景

新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワークの利用などが増加する一方で、オフィス内での業務を前提にしたネットワーク構成により、テレワークのための通信回線、VPN設備、セキュリティ機器のトラフィック対策など、ネットワークの維持・管理にかかるコストや業務負荷も増加しています。

さらに、クラウドサービスの利用拡大や、オフィス、自宅、サード・プレイス（第三の場所）など、働く場所のボーダーレス化の進展により、個人と会社の境界が曖昧になるなか、働く場所や利用するネットワークによらず、セキュリティを確保する必要があります。

■「Zscaler Private Access」の提供について

KDDI と KDS は、2019 年 6 月から「Zscaler with KDDI」の国内提供を開始（注 1）し、インターネット上のクラウドサービスへのセキュアなアクセスを実現する「Zscaler Internet Access (TM)」(以下 ZIA (TM)) を提供しています。

このたび、アクセス場所やネットワークを問わず、VPN を使用せずに、社内で管理する IaaS やデータセンターなどのシステムに接続することができる ZPA の提供を開始しました。社外から社内システムへのアクセスを、SaaS 型サービスなどの社外管理アプリと同様の基準で管理することで、アクセス場所を問わずセキュリティポリシーを統一できるだけでなく、VPN 構築費用の削減など、さまざまな運用コストの削減が可能となります。

さらに、ZIA と ZPA を組み合わせて導入することで、ゼロトラスト（注 2）の一要素である、あらゆる場所、どのネットワークからでも同一のアクセスポリシーに基づきセキュアに接続することが可能になり、企業の働き方の DX をサポートします。

なお、「Zscaler with KDDI」のサービス名称を「Zscaler」に変更するとともに、ZIA については、「Zscaler Internet Access 設定代行オプション」を新たに追加します。これにより、ZIA のユーザー追加やセキュリティポリシーの変更などの運用業務負荷が削減できます。

KDDI と KDS は、「Zscaler」の提供を通じて、「通信とライフデザインの融合」を推進し、「社会の持続的な成長に貢献する会社」として、法人のお客さまのビジネスに貢献し、新しい体験価値を創造していきます。

詳細は、別紙をご参照ください。

注 1)2019 年 7 月 17 日ニュースリリース

KDDI と共に「Zscaler with KDDI」を 提供開始

注 2)ゼロトラストとは、社内・社外のすべてのトラフィックを信頼せず、サービスのアクセス時などデバイスごとに検査、ログ取得を行うことで、セキュリティを強化する考え。